

## 野田総理の外国訪問に際しての支援等の表明

平成24年1月6日  
外務省

日程	訪問国	表明内容
平成23年9月23日	米国(ニューヨーク) (国連総会 一般討論演説)	(1)「アフリカの角」の干ばつ問題への対処のため、既に実施した約1億ドルの支援に加えて、更なる人道的な支援を行う。 (2)中東・北アフリカ地域のインフラ整備や産業育成に資する事業に対して新たに総額約10億ドルの円借款を実施する方針。
平成23年11月18日	インドネシア (日・ASEAN首脳会議)	ASEAN連結性強化に資する主要案件リスト「フラッグシップ・プロジェクト」を提示しつつ、事業規模は全体で約2兆円と見積られるが、実施のための資金手当はODAやJBIC等の活用、民間資金を動員するための仕組みを考える必要がある旨、さらにアジア開発銀行等との連携を進めていく旨言及。
平成23年12月28日	インド (日印首脳会談)	(1)2011年度対インド前期円借款案件として、「デリー-高速輸送システム建設計画フェーズ3」及び「西ベンガル州森林・生物多様性保全計画」の2件、総額1342.88億円の供与を約束。 (2)デリー-ムンバイ産業大動脈(DMIC)計画に関して、今後5年間で総額45億米ドルの官民資金を利用可能にするとの意図を表明。
平成23年10月19日	韓国 (日韓首脳会談)	日韓通貨スワップを総額700億ドルに拡充することで一致。これは、日韓の金融協力の強化の観点から行うものであり、これにより、金融市場の安定が図られ、もって日韓両国経済が共に安定的に成長していくことが期待される。
平成23年11月3-4日	フランス(カンヌ) (G20カンヌ・サミット)	具体的な支援の表明はなし。(注:欧州債務問題に関しては、野田総理より、欧州の合意を評価する一方、合意の履行が重要であり、欧州の結束を前提に、必要な協力を行う旨表明。)

IMF 5兆円

IMF 3,000億円 (合計2兆円見込)